

第3章 「絶滅命令」に関する史料批判と史料発掘の意義……………79

はじめに 79

1 ヘース証言の意義と問題性 80

2 アイヒマン証言の信憑性の検証 86

3 ヒトラーのヨーロッパ・ユダヤ人「絶滅命令」——「一九四二年二月二日」説 92

4 ソ連におけるアインザッツグルッペの活動と一九四一年八月以降のユダヤ人抹殺の拡大
おわりに 115 100

第4章 一時回避的移送政策とウッチ・ゲットー問題

——移送政策再開から絶滅政策への転換期としての一九四一年一〇月……………117

はじめに 117

1 ユダヤ人の東方移送——「フューラーの希望」 120

2 ウッチ・ゲットーの実態——一九四一年九月ヴェンツキ報告の段階 129

3 ヒムラー、ハイドリヒの強行突破策とヒトラーの承認——自動車排気ガスによる「安楽死」抹殺へ
おわりに 152 138

第5章 部分疎開政策とガス自動車「安楽死」作戦——ヘウムノ……………155

はじめに 155

1 ソ連占領地ユダヤ人殺戮の無差別化と「安楽死」技術転用の検討開始——一九四一年八月中旬 157

2 ガス自動車開発とソ連占領地への投入——配備開始一九四一年二月末 161

3 西ヨーロッパ各地の不穏状態とユダヤ人東方移送への圧力群 167

おわりに——総督府問題の深刻化 171

第6章 総力戦の圧力群と総督府におけるホロコースト……………173

はじめに 173

1 総督府におけるユダヤ人移送要請Ⅱ排出圧力とプレ・ラインハルト作戦 174

2 大々の移送強行政策の決定とヴァンゼー会議 182

3 ラインハルト作戦加速化の圧力群 189

おわりに 204

第7章 ヴァンゼー会議からポスト・ラインハルト作戦まで……………207

はじめに 207

1 会議の重要な確認事項と論点——難問としての混血児問題 209

2 敗退の断末魔とハンガリー・ユダヤ人の運命 217

終章 アウシュヴィッツ否定論の潮流とその批判……………225

はじめに 225

1 証言の信憑性問題におけるダブル・スタンダード 229

2 政治宣伝・裁判闘争の武器としての「アウシュヴィッツの嘘」 230

3 否定論の似非科学的手法 232

おわりに 236

ホロコースト の ガ学

独ノ戦・世界大戦・
総力戦の弁証法

H O L O C A U S T

永岑三千輝

Nagamine Michiteru